

過去を振り返って、自信をつけよう

| ルーティンチェック表 | | 名前... 今週の反省 | | | | |
|-------------------|----|-------------|---|---|---|---|
| 年齢の 日付 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 年齢の 日付 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| (1) 小説 (6ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 家事の手伝い | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (3) 運動 (3ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) お世話 (1ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (5) 基本問題集 (1ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年齢の 日付 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| (1) 小説 (6ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 家事の手伝い | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (3) 運動 (3ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) お世話 (1ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (5) 基本問題集 (1ヶ月以上) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※毎日チェックしてください。
できたら〇、できなかつたら×
△はつけません。

※名前はルーティンチェック表に記入する場合は必ず記入してください。

受験シーズンに入り、受験生を担当している先生はより緊張感を持って指導をしていることだと思います。この時期になると、不安で不安でいてもたってもいられない子もいるかも知れません。

不安を解消するのに効果的なのが、

今まで積み上げてきたことを振り返らせること

です。未来のことを思い描くと、どうしても失敗ばかりが頭を浮かんできてしまうという子でも、過去にしっかりとやってきたことを思い描かせれば、自信を持つことができるようになります。

ルーティンチェック表を活用して過去を振り返り、自信を手に入れよう。

やってきたことを思い描かせれば、自信を持つことができるようになります。

「ルーティンを継続し続けたこと」「定期テストや模擬テストで結果が出せたこと」「学ぶ姿勢が変化したこと」「計画的に勉強を続けたこと」など、今までに積み重ねてきたことが自信につながります。

受験を目の前にして自信を失っていたり、いまいちやる気に火がついていなかったりしていたら、過去を振り返りながら、先生としての熱いメッセージを生徒に送ってあげてください。口頭でも、手紙でも、なんでも良いと思うので、先生からのメッセージを送ってあげてください。それが、生徒にとっての大きな支えになりますし、受験に立ち向かう活力が生まれるきっかけになります。

また、2月は少しでも多くの時間を指導してもらえるように、冬季割引キャンペーンを実施します。保護者の方から時間を増やしてほしいなどのご依頼を受けましたら、できる限り応じていただけるとうれしいです。

指導手帳へ貴重なご意見ありがとうございました

ただいま、今の指導手帳をさらに改善し、よりよいものを作成しようとしています。先日、この件で、多くの先生から指導手帳の改善案を提示してもらいました。たくさんの意見をもらうことができて、私たちは本当にうれしかったです。

ガツ家庭教師では、指導手帳以外にも色々な独自ツールを使用しています。これらもみなさんの意見を交えながら、よりよいものに進化させていきたいと思っていますので、今後とも何卒よろしくお願ひします。

ケースメソッド・人のアイデアは役に立つ！

先生から頂いた改善点を元にケースを作成し、そのケースに対する対応策を頂いた改善策をベースに作成しました。そのため、複数の先生の意見が1つのケースとしてまとめられていることをご了承ください。

各ケースに対する対応策は、担当教師のつぶやきとして記載しました。他の先生が実践している対応策です。同じような改善点を抱えている先生は、是非自分に置き換えて、その対応策を実践してみてください。

ケース 1.

家庭学習の習慣が身についておらず、父親がゲームをするので環境としてもよくない。また、本人も試験 1ヶ月を切ったのに焦りが見られない。

(ケースモデル提供: 先生、先生、先生 ★ありがとうございます)

担当の先生のつぶやき(対応策):

「受験まで1ヶ月を切ったんだから、もっと焦ろよ！」って言っても無駄なんだ。そうだ、試験まで何日という日めくりカレンダーを作ってやろう。そうすれば、少しは焦るかもな。家庭学習の習慣がないことは、宿題を漫然と出すのではなく、毎日の分量で出せば、改善につながるかも知れない。それと、もう一つの悩みのタネは、父親のゲーム。K君はとても気が散るだろう。よし、父親にゲームは受験が終わるまではやらないでほしいと提案しよう。どこまで分かってくれるかは分からないが、言わないよりは言った方がいい。

ケース 2.

前に解けた問題が解けなくなることが多い。また、テストでは同じ問題なのに解けないことが頻繁にある。

(ケースモデル提供: 先生、先生 ★ありがとうございます)

担当の先生のつぶやき(対応策):

なんでできなくなるんだろう？私にはさっぱり理解不能だ。一回やったんだから、解き方くらい体で覚えられるだろう。ん、さてよ。解き方って、普通体で覚えられるか？一緒に解いたと言っても、解き方をそのまま指導ノートに残してきたわけではないし。。。こりや、指導方法を改善する必要がありそうだ。次回からは解き方を箇条書きにして、きちんと書いて残すことにしてよう。そして、それを見れば分かる問題を宿題として出す。こうすれば、知識が定着するかもな。

あとは、テストで実力が発揮できないことへの対策だ。この原因は。。。テスト形式に慣れていないからかも知れない。だとすると、テスト直前にテスト形式のプリントを作って、それを解かせてみよう。時間を計れば、よりテストに近い緊張感を与えられるぞ。

指導手帳ベストプラクティスの紹介

事例紹介: 先生の手帳

今回もたくさんの先生に指導手帳を提出していただきました。いつもありがとうございます。手帳を読んでいると、先生一人ひとりの生徒に対する情熱や想いがビンビン伝わってきて、本当にうれしくなります。

今回は、先生の手帳を紹介します。論理的に生徒さんの状況を分析していることが非常に印象的でした。その分析を活かして、指導にて具体的な行動を取って行ければ必ず結果につながると感じました。